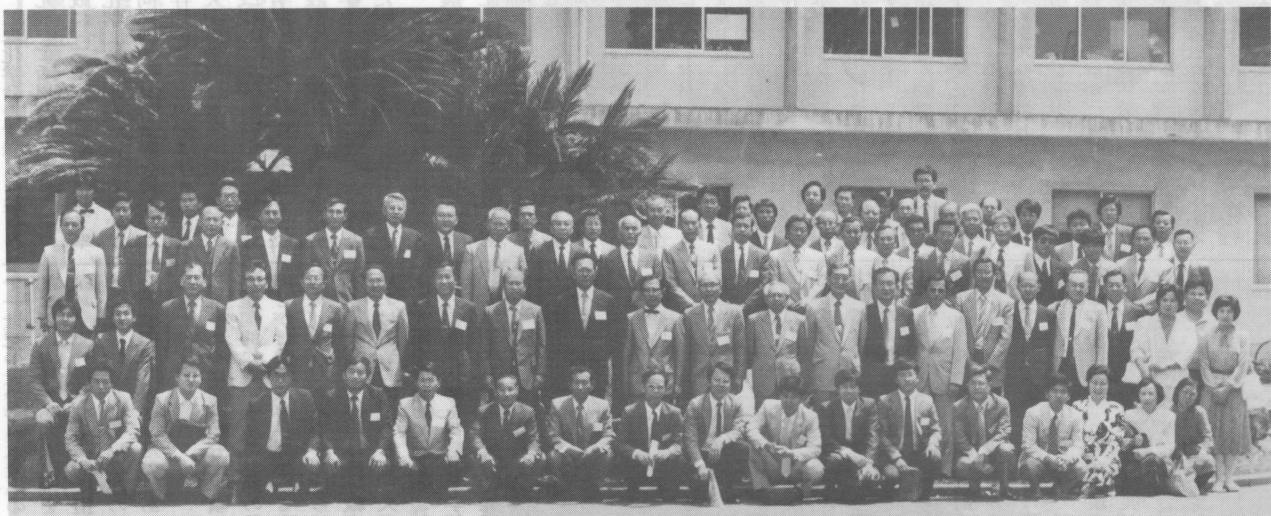


# 昭和62年度総会母校で開催

## — 生物資源学部発足のとしに —



昭和六十二年年度の定期総会が去る五月十日に農学部大講義室で開催された。

母校農学部は水産学部と合併して生物資源学部となり、本年十月から新学部が発足する。従

### 松嶋先生の記念講演と 三重県支部総会共催

去る五月十日に農学部大講義室で開催された。当日は遠く東京広島などから七十名の同窓会員が集り、午前

# 三 翠 化 学

(題字は稲川先生)

第 27 号

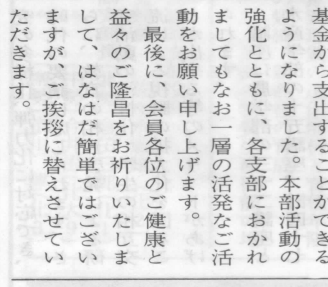
昭和62年10月31日発行  
三 翠 化 学 会  
津市上浜町1515  
三重大学農芸化学科内  
電話/津(0592)32-1211  
振替/名古屋9-59345  
印刷/株式会社ある  
TEL(052)332-0861 大8長谷川正



### ご挨拶 再任にあたって 会長 渡辺和巳

会員の皆様にはそれぞれの地域、職域におかれまして、存分のご活躍をいただいております。誠に同慶の至りであり、誠にさ

会員の皆様にはそれぞれの地域、職域におかれまして、存分のご活躍をいただいております。誠に同慶の至りであり、誠にさ



会員の皆様にはそれぞれの地域、職域におかれまして、存分のご活躍をいただいております。誠に同慶の至りであり、誠にさ

### 「農芸化学」コースの名は残されど、これ又同慶の

「農芸化学」コースの名は残されど、これ又同慶の... 次に来年度の活動強化について

### 昭和62、63年度 三翠化学会役員

会長 渡辺和巳(専1) 副会長 原田俊夫(専3) 理事 今西勝(専1)、嶋林幸英(専1)、鈴木幸郎(専3)

### 昭和62年度 三翠化学会事業報告

昭和61年4月8日 第1回役員... 昭和62年2月13日 第3回役員

### 昭和62年度 三翠化学会事業計画

昭和62年4月24日 第1回役員... 昭和63年2月 第4回役員

### 会費納入のお願い

三翠化学会の活動は全て皆様方の会費によって支えられてい



日を御記入頂きますと事務処理がはかどりますので御協力下さい。 (昭和62年度会計担当幹事 田口)



松嶋先生は恩師奈良、北岸、松嶋、熊澤、梅林、柏村、栗冠各先生をお迎えして盛大に行われた。会長挨拶に続く恩師挨拶では

三翠化学会昭61年度決算報告 (単位:円)

三翠化学会昭62年度予算 (単位:円)

三翠化学会基金決算報告 (S62.5.10)

三翠化学会昭62年度決算報告 (単位:円)

# 生物資源学部発足する

三翠化学会の皆様には益々お元気で活躍の事と存じます。既に、三翠(一五七号)や三翠化学(第二十六号)、あるいは同窓会・クラス会等を通じてご存知のことと思いますが、三重大学農学部は水産学部と統合・改組し、全国最初の「生物資源学部」として、この十月一日に設置され、昭和六十三年度から学生を受入れることとなりました。

この統合・改組は、伝統ある農・水両学部を一つの学部とし、学部名も組織も変えようという極めて重要な案件でありました。このため、数年に亘り農学部や水産学部の検討委員会、さらには両学部の合同委員会で協議を重ね、その内容を教授会にフィードバックするプロセスを繰り返して、ようやくこの案を最終的に両学部教授会の了承を得て、昭和六十二年度の概算要求として文部省に提出し、それが正式に許可されたという経緯があります。この統合・改組に踏み切った動機は、主なものとして二点であります。

その一つは、近年のバイオサイエンスや情報工学等の科学技術の顕著な進歩や急激な文化・経済の発展が、農林水産業を取り巻く社会状況をいかに大きく変化させ、関連諸産業の構造に質的な変革をもたらしつつある状況にあります。このような社会情勢の変化に対応し、かつ二

十一世紀の社会が農水産系の学部を要請するであろう役割を見定め、その役割を積極的に担うことを目的として、両学部の統合と改組に踏み切ったのであります。

もう一つは、昭和五十年頃からの全国的に農・水産系学部の見直しが行われてきたことを受けて、文部省は高等教育における質の向上を考慮し、大学の充実を計画しています。これらの客観状況を背景に本学部の将来を考えた場合、発展のためには、どうしても両学部を統合し、教育・研究体制の見直しと再編成をした新学部の上に積みあげた自前の大学院(総合大学院や連合大学院でもよい)博士課程をもつことが必要であり、その設置計画を打ち出したのであります。本省と折衝を重ねてきました所、大学院改革調査費(博士課程構想)が、新学部の上に大学院博士課程が実現する可能性は、一歩前進しました。どの様な内容の博士課程をつくるかは、目下検討中ではあります。昭和六十五年設置を目途として前向きに事を進め、全力をあげて努力しております。これが実現の暁には、名実ともに学部の発展が大いに期待されます。

さて、学部について、今少し詳細に申しあげたいと思っております。

生物資源を「人間が社会生活や生産活動に利用できる生物に関する要素」とします。生物資源は、作物、家畜、林木、魚介類等の生物素材は勿論のこと、これらを育成する土地や水や海域を含みます。したがって、生物資源学部では、生物素材の生産は勿論のこと、生産物の加工、流通、生物の機能利用並びに国土の管理や保全に関する科学を追究することを目的とします。このため、新学部の教育研究の対象は従来の農学部

## 学科は「一学科」生物資源学科

学科編成は、生物資源学科(入学定員三〇六名、一学科です。これは、先程もふれました様に、生物資源学部の教育研究対象が広範な分野にわたり、境界領域を含む総合的な教育研究をなし

講 座 名	教育研究分野
農業生産学	植物育種学、遺伝学、作物生理学、園芸学、畜産学、農業生産技術学、農産物加工学、農産物貯蔵学、農産物検査学
森林資源学	森林学、森林計画法、森林生態学、森林社会学、森林地保学、森林利用システム学
森林資源利用学	木質資源学、木材学、木材加工学、木材利用学、木材保存学、木材防虫学
水産資源育成学	魚類増殖学、無脊椎動物増殖学、藻類増殖学、養殖学、水産動物学、水産植物学
水産資源開発学	漁業学、漁場学、漁業資源学、水産資源学、水産環境学、水産衛生学
水圏環境学	海洋学、水圏学、水圏環境学、水圏生態学、水圏社会学
生物資源経済学	水産経済学、水産経営学、水産貿易学、水産政策学、水産法律学
農業土木学	農業利用学、農業機械学、農業施設学、農業生産学、農業経営学、農業社会学
生物生産機械学	農業機械学、農業施設学、農業生産学、農業経営学、農業社会学
農芸化学	農産物利用学、農産物加工学、農産物貯蔵学、農産物検査学、農産物防虫学
水産資源化学	水産資源学、水産環境学、水産衛生学、水産社会学
生物機能利用学	水産資源学、水産環境学、水産衛生学、水産社会学
附属施設	演習場、林業演習場、水産実験所、練習船、水産丸

## 専門分野の教育はコースで行なう

生物資源学部に入学した学生は、一年次において生物資源学全般の概観的知識を幅広く学んだ後、二年次から農業生産学コース、森林資源学コース、水産学コース、農業土木学コース、生物生産機械学コース、農芸化学コースのいずれかに分属し、学問内容を専ら学びます。

## 卒業生の学士号は「農学士」

生物資源学部の卒業生には「農学士」の学士号が与えられます。また、卒業後の就職先でありますが、従来の農・水学部の時に比較して、ずっと幅広くなるものと予想されます。勿論、

農芸化学分野の専門教育は農芸化学コースで行います。従来の農芸化学が行ってきた教育内容に加えて、分子細胞レベルにおける生物機能の解明と応用を中心としたバイオサイエンス分野の基礎と応用、理論と技術に関する授業科目を

強化し、基礎学力の充実、応用力の涵養を教育理念としております。学生が卒業後、こうした分野で充分活躍できる人材を養成するためです。ご参考迄に主な授業科目をあげますと、有機化学、生物化学、無機化学、分析化学、物理化学、土壌学、生

究の多様化・弾力化に対応でき、時代の要請に応じられます。さらに、教官の相互啓発による研究活動の活性化、学生の相互交流による視野の拡大を図ることが出来る等のメリットがあげられます。

講座は農学部の三十二講座と水産学部の十五講座、計四十七講座を再編成し、十二講座、五十六教育研究分野としました。農学部の附属農場と演習林、水産学部の附属水産実験所と練習船はそのまま生物資源学部に移行します。(別表Iをご参照ください)

表I

講 座 名	教育研究分野
農業生産学	植物育種学、遺伝学、作物生理学、園芸学、畜産学、農業生産技術学、農産物加工学、農産物貯蔵学、農産物検査学
森林資源学	森林学、森林計画法、森林生態学、森林社会学、森林地保学、森林利用システム学
森林資源利用学	木質資源学、木材学、木材加工学、木材利用学、木材保存学、木材防虫学
水産資源育成学	魚類増殖学、無脊椎動物増殖学、藻類増殖学、養殖学、水産動物学、水産植物学
水産資源開発学	漁業学、漁場学、漁業資源学、水産資源学、水産環境学、水産衛生学
水圏環境学	海洋学、水圏学、水圏環境学、水圏生態学、水圏社会学
生物資源経済学	水産経済学、水産経営学、水産貿易学、水産政策学、水産法律学
農業土木学	農業利用学、農業機械学、農業施設学、農業生産学、農業経営学、農業社会学
生物生産機械学	農業機械学、農業施設学、農業生産学、農業経営学、農業社会学
農芸化学	農産物利用学、農産物加工学、農産物貯蔵学、農産物検査学、農産物防虫学
水産資源化学	水産資源学、水産環境学、水産衛生学、水産社会学
生物機能利用学	水産資源学、水産環境学、水産衛生学、水産社会学
附属施設	演習場、林業演習場、水産実験所、練習船、水産丸

化学、農産物利用学、応用微生物学、生理活性化学、栄養化学、食品化学、酵素化学、植物栄養学、微生物利用学、微生物遺伝学、蛋白質化学、細胞生理学、応用酵素化学、農芸化学実験実習となります。

農芸化学分野の講座は、農芸化学と生物機能利用学の二講座に再編成されました。ご存知の様に、農芸化学は七講座(土壌学、肥料学、生物化学、農産製造学、醸酵学、栄養化学、畜産物利用学、農芸化学、食品化学)から構成されていましたが、新学部では二つの講座に再編成し、教育・研究の柔軟性、弾力性をもちました。

その一つは農芸化学講座(生物の特性と潜在能力を化学ならびに生化学の面から究明し、得られた知見の生物資源の生産、開発・利用への応用に関する教育研究を行う)でありまして、土壌学、梅林教授、犬伏助教授、植物栄養学(小宮教授、井井助教授、栄養化学(高橋教授、古市助教授)、食品化学(山田教授、久松助教授)の五つの教育研究分野から構成されております。

土壌学の犬伏先生は東京大学農学部農芸化学科から九月一日

## コースの内容と卒業後の進路

教育コース	関連講座	教育内容	卒業後の進路
農業生産学	農業生産学 生物資源経済学	動物の有効利用、生物機能の開発、生産の合理化、病害虫の生理・生態と防除および農業生産の経済的、経済的ならびに社会的基礎に関する理論と応用。	種苗生産・バイオサイエンス関連企業、農業関連機関、農業技術指導、自営農業者、教員、農業技術に関する公的研究機関、各種公務員。
森林資源学	森林資源学 森林資源利用学	森林資源の育成、保護、利用ならびに公園、緑地などを含めた自然環境の改善、山地の保全、木質資源の物理的・化学的処理による有効利用等に関する理論と技術。	治山・緑化事業関係コンサルタント、林業関係企業、住宅・家具関連企業、紙・パルプ、接着剤等の企業、各種公務員。
水産学	水産資源育成学 水産資源開発学 水産環境学 水産資源化学 生物資源経済学	水圏環境の物理・化学・生物学的特性、生物資源の効率的かつ持続的漁獲法、有用水産物の増殖、漁獲物の化学的・生物学的特性と有効利用、水産業の経営の基礎等に関する理論と応用。	漁業、養殖業および関連企業、海洋環境調査・海洋開発関連企業、情報産業、食品製造業、流通業、各種公務員、漁業団体等。
農業土木学	農業土木学	生物生産の基礎となる土地や水の適正利用、生産施設の開発利用、エコシステムの保全およびそれらに必要な情報処理、構造物の設計・施工に関する理論と技術。	国家・地方公務員、公社・公団等の職員、土木建設会社、土木・環境等の技術コンサルタント会社、情報関連企業、コンクリート会社。
生物生産機械学	生物生産機械学	生物資源の生産、加工、輸送、利用等にかかわる各種機械、装置化システムの設計、開発、計測、制御、加工プロセス等に必要理工学的な理論と技術。	生物生産・利用、食品加工、土木・建設など一般産業機械、コンピュータ、バイオ、施設、制御関連の先端技術企業や関係の公的研究機関。
農芸化学	農芸化学 生物機能利用学	バイオサイエンスすなわち動物、微生物等生物の有する生命現象の化学的究明と、分子・細胞レベルにおける生物機能の応用と開発に関する理論と技術。	食品、醸造、醸酵、医薬、農薬、化学工業、農産業等バイオサイエンス関連企業および農業技術や食糧科学等に関する公的研究機関。

農芸化学コースは、生物資源学部が目指す「生物資源の開発・利用」に関して化学や生化学に基礎をおいたバイオサイエンスの面から追究する教育研究の中心的役割を果すべく、日夜精進する所存であります。日進月歩のこの分野のよりよき教育、とくに基礎学力の充実、応用力の涵養を目的とする教育効果をあげるためには、教官陣の絶え間ない努力による素晴らしい

生物資源学部  
生物資源学科

ご指導をどしどしお寄せいただき、名実共に充実した「生物資源学部」の発展にご協力を賜わります。紙面を借りてお祝い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方へのお礼とご発展とご多幸をお祈りいたします。

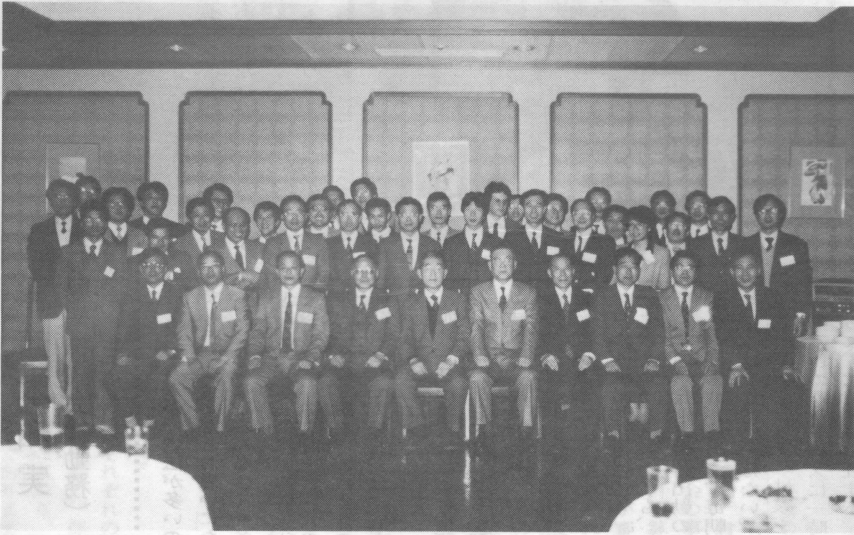
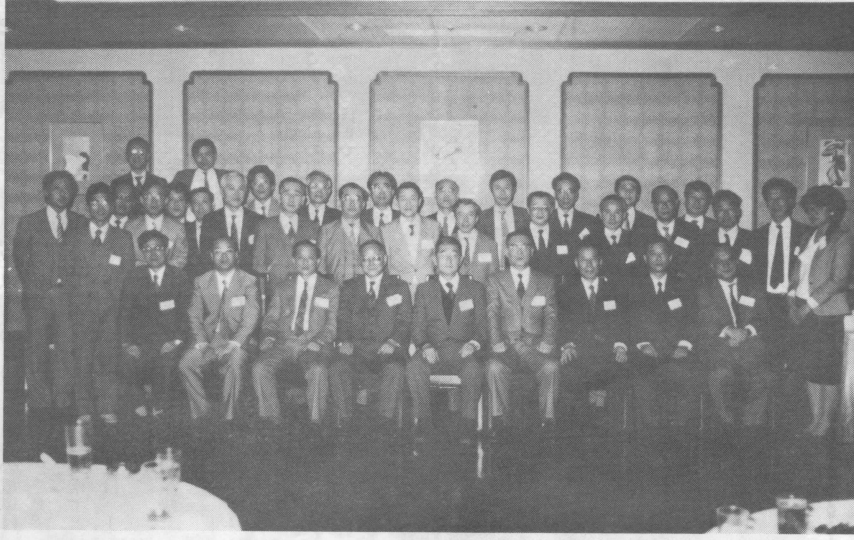
●さらに、深く勉学を志す者のためには、大学院修士課程が準備されており、将来、博士課程の設置を計画しております。

# 関東支部総会報告

四月二日、東京ダイヤモンドホテルにおいて、盛況に開催された。関東(静岡以北)には、約二百名の同窓生が活躍されている。できるだけ多数の参加を得るために、農芸化学会御出席予定の諸先生の御名前を出欠

ハガキに予告した成果が、五十名の参加者があり、先生方十名、学生三名を加えて七十一名に達し、会場が狭く感じられたほどであった。長瀬会長のあいさつ、熊沢先生の農学部状況と「生物資源学部」発足の経過の紹介のあと二時間にわたり歓談が続いた。

三十四回生卒まで達していることから、先輩・後輩といつてもなかなか接点を見出せずの状況も出始めてきたため、少しはプラスにならうと今回、当番の



12回生は考えて、次回から一学年(次、13回生と25回生)とすることを提案し認められた。

アルコールが進むにつれて伴奏の無いカラオケも入り、先生も囲んでの笑聲が最後まで続いた。記念写真は、出席者多く、十一回生をくぎりに二グループに分かれてシャッターオンに至ったにぎやかな一瞬であった。

最後に校歌、応援歌を大声で歌い会は終った。

(十二回生 奥村憲記)

## 職場紹介

### 農林水産省野菜・茶業試験場

(金谷一茶業部門一)  
田中伸三(大15)

当試験場(野菜・茶試)と略す

は昨年(昭和六十一年)十二月

に野菜試験場(本場、三重県安濃町)と茶業試験場(本場、静岡県榛原郡金谷町)が統合して発足したばかりで、ようやく三ヶ月程経ったところです。野菜

強による茶園の生産性の向上、茶樹の物質生産機能の解明。茶樹の生産性向上技術の開発。

三、茶の商品性向上技術の開発。製茶技術の改良。茶の品質評価法の改良・開発。

四、新製品の開発並びに茶の有効成分の利用・開発。

五、茶の高位生産技術体系の確立。茶園の土地生産性の向上。病害虫の総合防除技術の確立。製茶工場における生産性の向上。茶の高位生産技術の体系

は現在四名ですが、三名は農学科出身の方です。最後に茶の宣伝を兼ね、この数年の茶のトピックスについて、三記します。

まず、昭和五十六年に国立遺伝学研究所の賀田部長が、緑茶や紅茶中に強い活性を有する抗突然変異因子を検出し、学会でも発表されて話題になった。また、昭和五十四、五年頃からウーロン茶(半発酵茶)を飲むとやせるといふことからブームになり、昭和五十六年に伊藤園から缶入りウーロン茶が最初に発売され、その後、大手のサント

リーが缶入りウーロン茶に乗り出してから全国に行き渡った。現在では、煎茶を含めたその他の缶ドリンクや各種のインスタントティー等も各社から市販されている。ところで、昨年の十二月に一部の週刊誌にも載ったように、当試験場の津志田主任研究員が血圧降下作用を強めた茶(キヤバロン茶)を開発し、今年一番茶から民間で製造された商品化されると聞いている。この有効成分はγ-アミノ酪酸(GABA)で、以前から動物実験で血圧降下作用が確かめられている。さらについて最近、今年二月六日に新聞で報道されたとおり、農水省が富山医科大学に研究を委託していた抗糖尿病成分が、森田教授により明らかになった。以前から抹茶が糖尿病に効く事は判っており、今回明らかになった主成分はある種の水溶性ポリサッカライドの様である。

お茶は古くから保健飲料として愛用されてきたが、次々と科学的な解明がなされてきている。お茶という、一般に古くさいというイメージが強いものであるが、茶は古くて新しい飲料物であると考えている。

## 大三同窓会開く

7月4・5日 知多にて

闇雲明男



名古屋在住の伊佐、石川両君のお骨折りで久しぶりの同窓会を七月四日から五日にかけて魚の旨い知多で開催しました。35年も昔、クラス担任をして下さった奈良先生にもご出席頂くことができました。

総勢15名、昭和30年の卒業。戦後が漸く終わったとは言え高度成長期の前で不景気、就職難の厳しい時代でした。よんどろなくその後転職し、苦勞した同窓も大勢おられます。

往年の美少年、美少女も白髪が目につくようになっていますが昭和一行生まれのしぶとさ、卒業の29名全員一線ぞ頑張っています。

卒業の頃の常識では55才ちょうど今頃定年を迎える所です。出席メンバーの元気をみればまだまだ若い人たちに伍していけそうです。

四日夜からの麻雀組、五日早朝からの舟釣り組。悪童時代にタイムスリップして思い出や現況に話題の尽きることはありませんでした。

五日昼食後、記念撮影を行い、再会を約して別れました。

出席メンバーは  
前列左より坂野、内藤、伊藤、奈良先生、清水、河合、後列右より伊佐、奥野、今村、中西、田中大作、田中秀志、闇雲、石川です。東京より参加の青木君と岡田君は所用の為五日午前中に引きあげました。

## 三重県支部だより

### 山本会長ら新役員決まる

七月二十五日、三翠三重支部連絡協議会が開催され、新役員が次のとおり決まりました。就任されました諸氏におかれましては、よろしく御協力の程お願いいたします。

三翠三重支部連絡協議会役員

- 会長 山本 哲夫(農学代表 農18)
- 副会長 白井 裕(土木 土13)
- 萩原 治(林学 林20)
- 佐々木敏雄(化学 化2)
- 化学よりの理事  
渡辺和巳(化1)、島林幸英(化1)、中川潔彦(化2)、奥田孝夫(化3)、藪本 義雄(化4)
- 化学よりの評議員  
庄山孝義(化1)、今西 勝(化1)、若林長生(化1)、清水利一(化大1)、福田 映(化大1)、渋谷 明(化大4)、高橋孝雄(化大6)、今井 滋(化大9)、池山洋久(化大16)、杉崎 護(化大16)、広瀬和久(化大20)
- 支部長 佐々木敏雄(化2)
- 副支部長 北勢 倉田三郎(化1)
- (中勢 今井滋(化大9))
- (南勢 市川 淳(化3))

## 「こうより」への投稿のお願い

農芸化学科の教官、卒業生、在學生を結ぶ機関紙「こうより」三十一号を発行すべく、今、準備を進めています。

在學生にとっては、各界で活躍の先輩方からの御便りが将来を決める大きな指針となります。皆様方の近況、在學中の思い出、エピソード、解説、エッセイ等何でも結構ですから、数多くご投稿いただければ幸甚の至りです。

これからの「こうより」を育てていくために、先輩方の御助力をお願いいたします。

〒550 津市上浜町一五一五  
三重大学農学部農芸化学科  
こうより編集委員会



# ある新入社員の Q & A

磯村直久

Q 一 就職して、一番変わったことは？

A 一 毎日毎日、規則正しい生活で、朝 5:50 に起き、9:15 に帰宅です。毎日の早起きのせいで、休みの日まで、ゆっくりとねていたにもかかわらず、

Q 二 今、一番いいと思うことは？

A 二 毎日の通勤で、ビチビチの女子高生でいっぱいバスにのる事です。

Q 三 それでは、一番いやなこととは？

A 三 会社で時々多くをいわれることもイヤですけど、それ以上に帰りの JR 東海の電車に冷ぼろがきいてない事です。

Q 四 好きな食べ物？

A 四 みかん

Q 五 好きな色は？

A 五 オレンジ色（みかん色）

Q 六 給料は、何に使っていますか？

A 六 「ばくち」です。人生はあつたというのが私のモットです。

# 会社人一年生として

西本和実 (小林製薬株式会社勤務)

みなさんは、小林製薬という会社をどう思っていますか？

小林製薬は、大企業だとは思っていません。むしろ、人間的な面からいって、非常にいい会社だと思います。社員一人ひとりが、会社のために頑張っている姿が、とても心に残っています。

入社してからは、先輩社員から丁寧な指導を受け、業務も徐々に慣れてきました。特に、先輩の熱意と責任感が、自分にも伝わるように感じています。

また、会社での研修や勉強会など、成長の機会も多くあります。これからは、さらなるスキルアップを目指し、会社に貢献できるよう頑張りたいと思います。

# 会社人一年生

会社の恥にならぬよう…

川本朱美 (住友電装株式会社)

会社人になって、もう五ヶ月が過ぎました。四・五月は研修で、座学・工場実習などを行い、仕事をしています。実感はありますが、まだ 86 年に男女雇用機会均等法が施行され、大卒男子と同様な扱いであるが、男性の中で仕事をしていると、さらに仕事の大変さを身にしみて感じています。

入社して、印を一つ押すにも慎重にします。また、先輩社員から丁寧な指導を受け、業務も徐々に慣れてきました。特に、先輩の熱意と責任感が、自分にも伝わるように感じています。

また、会社での研修や勉強会など、成長の機会も多くあります。これからは、さらなるスキルアップを目指し、会社に貢献できるよう頑張りたいと思います。

仕事の内容について少し述べます。車の電装部品・ケーブルなどを製造していますが、それには電線の被覆材・エンジニアリングプラスチックについて、その材質を分析しています。また、光ケーブルに用いるコネクタ部についても、その材質を調査しています。

最後に、会社人になって、感じたことは、何をやるにしても、会社の名譽を傷つけないこと、そして、これが学生時代とは違うところと感じています。

# 私は…

「アンメルツ」以来、ヒット商品に恵まれていない。何とか一日も早く、私も会社の役に立ちたい。でも、どうも、おもしろくない。どうも、おもしろくない。どうも、おもしろくない。

私は、大学二年生の時に、アメリカに留学した。最初は、文化の違いに戸惑ったが、次第に、アメリカの生活に慣れ、自分も、アメリカ人のように生活できるようになった。それは、とても貴重な経験だった。

帰国後、私は、アメリカで学んだことを、日本の会社に活かしたい。そして、自分も、アメリカ人のように、仕事に打ち込みたい。それが、私の目標です。

建設省国土院の測量士。測量士とは、土地の面積や形状を正確に測定する仕事です。測量士になるには、国土院の試験に合格する必要があります。試験は、測量の基礎知識と実地測量のスキルを問われます。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

私は、測量士の仕事に誇りを感じています。そして、これからも、測量士の仕事に打ち込み、社会に貢献したいと思います。

# アメリカ生活雑感

アメリカに留学して、もう二年が経ちました。最初は、文化の違いに戸惑ったが、次第に、アメリカの生活に慣れ、自分も、アメリカ人のように生活できるようになった。それは、とても貴重な経験だった。

帰国後、私は、アメリカで学んだことを、日本の会社に活かしたい。そして、自分も、アメリカ人のように、仕事に打ち込みたい。それが、私の目標です。

私は、測量士の仕事に誇りを感じています。そして、これからも、測量士の仕事に打ち込み、社会に貢献したいと思います。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

私は、測量士の仕事に誇りを感じています。そして、これからも、測量士の仕事に打ち込み、社会に貢献したいと思います。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

# これも一局

田中康夫

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

私は、測量士の仕事に誇りを感じています。そして、これからも、測量士の仕事に打ち込み、社会に貢献したいと思います。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。

私は、測量士の仕事に誇りを感じています。そして、これからも、測量士の仕事に打ち込み、社会に貢献したいと思います。

測量士の仕事は、大抵、野外で行われます。天候や地形の影響を受け、大変な仕事です。しかし、測量士としての責任感が、自分を支えています。また、測量士の仕事は、社会の発展に大きく貢献しています。